

あっぱれ 優拍手に!

小学校

■第30回全国少年少女レスリング選手権大会
北海道レスリング協会創立60周年記念札幌大会
優勝 女子の部3年生33kg級 山倉和華(久賀小)
2位 小学生の部6年生55kg級 山倉孝介(久賀小)
■千葉県スナッグゴルフ大会
2位 久賀小
3位 多古第2小 **全国大会出場**
■第15回関東学童軟式野球秋季千葉県大会
(5年生以下)水郷・香取地区予選大会
優勝 多古ジュニアベースボールクラブ **県大会出場**

中学校

■郡市中学校陸上競技大会
優勝 男子共通110mハードル 齋藤 準 **県大会出場**
〃 男子共通200m 齋藤 準
〃 女子共通走り幅跳び 清野涼々花 **県大会出場**
〃 男子1年生走り幅跳び 小林隼人
〃 男子1年生100m 小林隼人
〃 女子1年生800m 大木美香
2位 女子1年生走り幅跳び 菅澤桃子 **県大会出場**
〃 男子共通3000m 加瀬天斗
〃 男子共通4×100mリレー
齋藤 準・大矢一史・加瀬天斗・宇井将晃
3位 女子1年生800m 前原綾乃
4位 男子共通200m 大矢一史 **県大会出場**
■記録推薦枠
男子共通走り幅跳び 宇井将晃 **県大会出場**
■県中学校総合体育大会
優勝 男子共通110mハードル 齋藤 準 **関東大会出場**
4位 女子共通走り幅跳び 清野涼々花 **全国大会出場**
〃 女子1年生走り幅跳び 菅澤桃子
7位 男子1年生走り幅跳び 小林隼人
8位 男子共通走り幅跳び 宇井将晃
■郡市中学校ソフトボール大会
優勝 ソフトボール部 **県大会出場**
最優秀選手賞 保田あかね
最優秀投手賞 五木田未有
■郡市中学校卓球大会
優勝 男子シングルス 菅澤響己
2位 男子シングルス 鈴木達也 **県大会出場**
〃 女子シングルス 天井玖瑠海
〃 男子団体 男子卓球部
3位 女子ダブルス 岡村優菜・小林美喜ペア
■郡市中学校柔道大会
3位 男子団体 男子柔道部
〃 男子60kg級 松原大輔
■郡市中学校バレーボール大会
3位 女子団体 女子バレーボール部
優秀選手賞 卯田みらい
■郡市中学校ソフトテニス大会
2位 女子教育トーナメント
3位 女子団体 女子ソフトテニス部

一般
■第14回町民ソフトバレー大会
優勝 男子の部 PTC Aチーム
2位 〃 PTC Bチーム
〃 女子の部 PTC
3位 〃 スポーツ推進委員チーム

町の観光拠点に

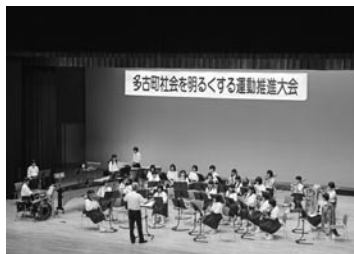


6月30日、中村の日本寺で毎年恒例のあじさい祭りが開催されました。駐車場から山門を経て本堂へと続く参道の両側に色鮮やかにあじさいが咲くなか、献花法要からはじまり、三線の演奏に続き、銚子の跳ね太鼓の荒々しく迫力のある音色が境内に響き渡りました。今年からは、地元の方々が集まって新たに組織を作り、珍しい品種のあじさいの苗木を植えたり、多目的に使える野外ステージを作るなど、日本寺を町の観光の中心にしようという取り組みが始まりました。

社会を明るくする運動

この運動は、犯罪の防止と犯罪をした人の立ち直りは地域社会の理解と連携による「力」が必要不可欠であるとして、地域に根差した国民運動として全国的に行われています。

7月3日プラザ文化ホールにて開催された第63回多古町社会を明るくする運動推進大会では、多古中学校1年生全員と地域の方々が出席するなか、中学3年生4名による作文発表とプラスバンド部による演奏の後、ビデオ上映により「犯罪や非行の防止、社会を明るくするためにはどうしたらよいか」について理解を深めました。



楽しい英語!

7月10日多古幼稚園で5歳児を対象に英語教室を行いました。幼児のころから英語に親しんでもらうために昨年からは始まったこの事業は、多古中学校の英語を指導しているマイケル先生を講師に、年8回を計画しています。今日は「色」についてのお勉強。マイケル先生の発音のあとに子どもたちが大きな声で続きます。そのほかに歌をうたったり色当て競争をしたりと元気に楽しく英語ができました。

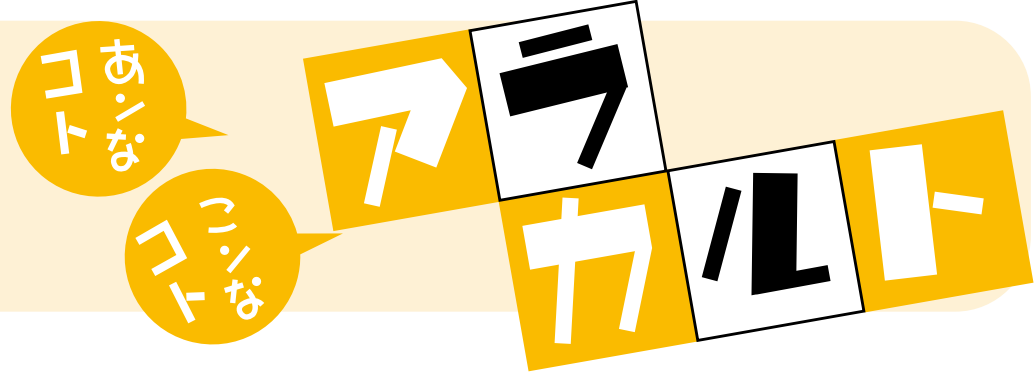


準備はいい? 流しそうめん!

7月14日~15日、中村小学校の校庭でサマーキャンプが行われました。これは6年生を対象とした夏の伝統行事で、6年生の保護者が企画・運営を行います。スイカ割りなどのレクリエーションを楽しんだり、校舎の前で流しそうめんやバーベキューをしたり、夜には肝試しや花火など楽しい企画が盛りだくさん!!子どもたちは、保護者の皆さんと思い出に残る夏の2日間を過ごしました。



町の出来事や頑張っている皆さんを紹介するアラカルトコーナー。
このコーナーでは、皆さんからの情報をお待ちしています。
〒289-2292
多古町役場総務課広報係 ☎76-2611



伝統を支える

多古町の夏の風物詩であり、江戸の時代から脈々と受け継がれてきたといわれている「しいかご舞」。長さ10メートルもの「つくめ柱」の上で披露されるダイナミックな舞を支える“縁の下の力持ち”の存在を皆さんは知っていますか?

定かではありませんが、少なくとも200年以上もの間つくめ柱を支えてきた4本の柱は、老朽化によりその役目を終え、そして引き続き後世に伝統を繋げるための新しい支柱がこのたび完成しました。

より長持ちするよう材質を松からケヤキに変えられ、推定樹齢70~80年、1本200kg以上あるという長さ2.5mの支柱は、時には3人がかりで約10日間をかけて制作されました。その太さと堅さから、木目に逆らって穴を開ける作業が難しく、道具の刃を研ぐ時間のほうが長かったほど。

この新しい4本の支柱は、これからも幾世代もの時を超えて伝統を支えてくれることでしょう。



老朽化により引退となった支柱



新しい柱で支えられる「つくめ柱」



今年の祇園祭でのしいかご舞

多古町建設災害協力会土のう作り

災害の予防や発生時にいち早く対応し、町民の安全を確保するためのボランティア組織。町内の建設業者7社からなる災害協力会の方々が協力するなか、台風シーズンに備えて「土のう」作りと点検が7月12日の炎天下の中、役場駐車場で行われました。

協力会の会長から町職員に対して土のう作りのコツについて説明がされた後、2tダンプ2台半の砂が運ばれ、町職員を合わせたおよそ30名により、約1,000個の土のうが作られました。この土のうは、大雨などの災害時には一般住民の方々でもご利用できます。詳しくは都市整備課までお問い合わせください。



(写真上) 土のう作りと点検の様子
(写真左) コツを説明する協力会会長